



# 町長回誌 No.137

町長日誌の第137号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

3月17日(火) AM9:20

やはり弥生3月になると日差しが暖かく、何やら心までホンワカと温かくなってきます。5日に旭川厚生病院で大腸カメラ検査をしてまいりました。皆さんをお騒がせしたのが平成24年3月ですから、はや3年が経過しました。本当に早いですね。お陰様で癌細胞の転移も無く「大丈夫ですよ」と医師から言われ一安心しています。20日には主治医の診察を受けて、おそらく3ヶ月に一回の検診が終了し、今度は半年に一度ぐらいになるのでは？と思っています。癌患者の場合5年が一つの目安で、それまでに再発が無ければOKなのだそうです。平均寿命がどんどん延びると並行して「癌」の発症率も急増しました。しかし、今や胃がんなどは発見さえ早ければ怖い病気ではなくなりましたし、私の様に大腸がんでも同様に治療できる時代となりました。しかし、問題は「早期発見」できることが大前提です。大腸がんで、私の場合ステージ3(1~4)でも痛みが無く、痩せる事も無く(笑)出血が無ければ気付かない位でした。幸い1年に一回定期検診をしていて、院長から大腸カメラを勧められての発見でした。実は、これには理由があり、何年も前から定期検診時に便に血が混じっていて再検査を促されていたのですが、自分で勝手に持だと決めつけていたため検査が遅れステージ3まで進んでしまったのです。

この頃の町の各種検診の受診状況を見ますと受診率が悪くなっています。一方、手術や入院による高額医療費補助が年々増加し、国保会計は皆さんの保険料では賄えず他の収入から繰り入れています。例えば、私が1年間飲んでいた抗がん剤は4週間分で約25万円(うち自己負担分8万円)でしたが、これは決して高額な方ではないのです。ですが、この金額では若い世代が癌になった時に抗がん剤の服用が経済的理由で止めてしまう例もあるようです。病の怖いところは本人の体や命を蝕むだけでなく、家族の生活をも狂わせるところに在ります。これは介護においても同じことが言えます。これらの事は、災害対策と同じで「備えあれば憂いなし」です、どうか皆さんが「定期的な健診」をライフワークにして頂ければ病も軽く済むことが多くなり、町では何千万円に上る金を使わずに済むのです。もし、このお金を子育てや若い世代の応援に回せたら興部町はさらに住みやすい町になると思う今日この頃です。

3月9日(月)

平成27年度の町の予算を決める第1回定例議会が始まりました。いつもであれば予算案と併せて1年間の町政執行方針(町の運営の考え方)を私から発表するのですが、今年4月には町長・議会の選挙がありますので、今年は選挙後の6月の定例議会で4年間の方針を含めた「執行方針」を述べる予定です。ですから、予算額も例年ですと通常の8割ぐらいとなり6月に政策的な予算を追加して本格予算とするのですが、今年はバイオマス施設整備事業が今月中に補助決定されるので、この事業費約5億円や新統合中学校改築調査費など総額で45億7千万円と本格予算並みの額となりました。今後、予算委員会での審議を経て19日には新年度予算が決まる予定です。

3月16日(月)

今年の税金の確定申告が終了しました。確定申告は個人事業主や財産収入のあった方が対象となります。最近ではパソコンを使った納税方法もあり漁組さんではかなり活用されているようですが、役場まで足を運んでいただきました多くの皆様に感謝を申し上げます。所得税や消費税は国に治める税ですが、町民税・固定資産税は町の収入となります。さらには、町税額が確定した後に国保税や介護保険料などが所得に応じて決定され、皆様に納入通知書が届きますので、ご確認のうえ納税されますようお願いいたします。

何やら、今回はお金のお話にばかりなってしまいましたが、予算決定の時期ですでお許しください。さてこの日誌を書いていると急に興部警察署の村上署長さんが転勤のご挨拶に来られました。1年間の勤務でしたが振り込め詐欺防止には大変なご指導を頂きました。今度は十勝の広域交通機動隊長へのご栄転との事です。大変お世話になりありがとうございました。まさに、転勤、入学、就職、退職などの季節です。お世話になった人、新たに迎える人、それぞれお元気で良い春になることを心から願っています。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。